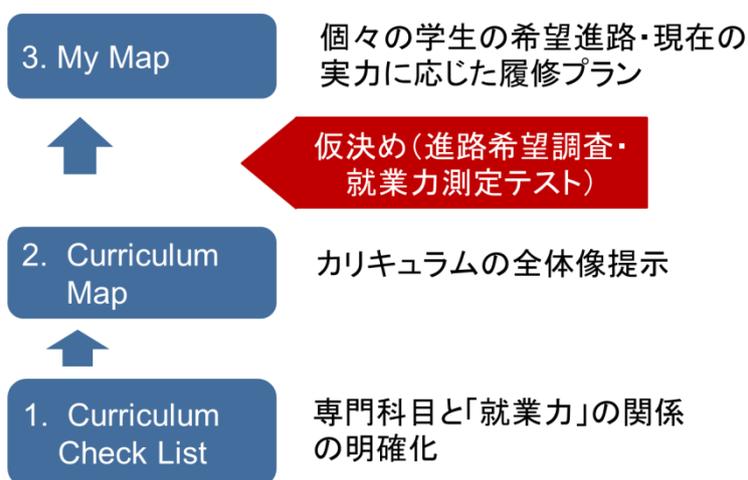


IV. My Map の取組み

IV-1. カリキュラムチェックリスト (CCL)、カリキュラムマップ (CM)、マイマップ (My Map) の開発

1年次末の「就業力測定テスト」および、2年次初めの「進路の仮決め」によって、学生に、希望する進路で求められる能力と、自身に必要な能力を認識させる。一方で、CCLとCMは各科目でどのような能力が身につくかを明らかにしている。そこで、各学生の就業力測定テストとCCLを対照させて、学生毎にその希望進路・現在の實力に応じた履修プランをMy Mapとして作成させる。すなわち、My Mapは学生を就業力の視点から、学問・世界へリンクさせる手段である。

図表IV-1.



IV-1-1 (1) カリキュラムチェックリスト (Curriculum Check List: CCL) の開発

創価大学経済学部では、2008年10月の「学部戦略会議」でCCLの作成を決定した。その後、2009年度前期に学部の「教育目標」に基づき、学部でどのような「汎用的能力」を身に付けさせるかを明確化した。その際、文科省「各専攻分野を通じて培う『学士力』」、および、アメリカ・カリフォルニア大学バークレイ校の Learning Goals for Economic Majors を参考にした。

2010年には「就業力GP」採択に伴い、大学で決定した「創価大学の就業力」をCCLのなかに明確に位置づけた。さらに、2011年度後期こうした変更に伴い、学部教員全体でCCLの更新を行った。

図表Ⅳ－１－（１）創価大学経済学部CCL（一部）

創価大学経済学部の教育目標	LearningOutcomes	創価大学の就業力	基礎演習				経済と歴史		ミクロ経済学		マクロ経済学				
			1	1	1	1	1	1	1	1					
	細目		日本語アカデミックライティングの手法を学びレポートを書く	プレゼンテーションの手法を学び、プレゼンテーションを行う	グループでリサーチを行う	図書館・インターネットの活用方法、利用のルールを学ぶ	世界・日本の経済史についての諸学説を学ぶ	現代の経済問題を歴史的な文脈から理解する力を増やす	経済理論の基礎を習得する	学習した理論を使って現実の経済問題を考察できる能力を増やす	経済理論の基礎を習得する	雑誌・新聞・テレビ等で経済に関する報道・議論・解説を理解する力を増やす			
体系的な経済学教育を通して、問題発見・解決能力と論理的思考力を備えた人材を育成する。	経済学を用いて、社会現象を複眼的視点から論理的に理解・分析することができる	日常の経済問題を理解できる(B) 政策提案を理解し評価するために経済理論を用いることができる(B) 複数の主張を比較できる(B) 社会問題を複数の視点から分析できる 仮説・検証のプロセスを理解している(B)	論理的思考力						◎	◎	◎	◎			
								○		◎	◎	◎	◎		
										○			○	○	
											◎		○	○	
	数量的・統計的データを正確に理解することができる	数学の基礎的スキルを身につけている 社会分析での数量データの役割を理解している(B) 統計的な分析の結果を理解し解釈できる(B) 自ら統計的な分析を行える(B) 自らデータを集め統計的分析を行える(B)	数量的分析力								○				
													◎	◎	
	日本・世界の経済・社会的な知識を持ち、活用することができる	ICTを用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる(G) 現代世界の社会問題について適切な知識を持っている 現代日本の社会問題について適切な知識を持っている	課題設定力												
		人類の文化・歴史について適切な知識を持っている 日本の文化・歴史について適切な知識を持っている							◎						
									◎						
		明確な解答のある問題を解くことができる(B) 社会現象の中に、自ら問題を発見することができる 明確な解答のない問題を解決することができる(B)										○	○		
												○	○	○	○
														○	○
													○	○	
	獲得した知識に基づきながら、既成概念にとらわれずに独創的に問題を設定し、解決策を提示できる	創造的思考力													
英語による経済学教育を通して、グローバル社会で役立つコミュニケーション力を備えた人材を育成する。	日本語や英語を用いて、他者の考えを正確に理解し、自らの考えを明確に伝えることができる 英語で社会科学の専門書を読むことができる 英語で明確な文章を書くことができる	言語表現力						○				○			
								◎							
	日本語で明確なプレゼンテーションが行える 英語で明確なプレゼンテーションが行える	討議推進力			◎										
	世界の多様性、社会問題の多面性を理解し、適切な議論を行うことができる 日本語で社会問題・経済問題をディスカッションできる 英語で社会問題・経済問題をディスカッションできる										○		○		
	異文化を偏見のない態度で学ぶことができる							○							
3. 人間主義に基づく経済学教育を通して、人間を温かい目で見ることの出来る、世界に通用する人材を育成する。	自らの行動を律し、他者と協力しながら、目的を計画的に実現できる 自らを律して行動できる(G) 自律的な学習者として、自ら課題を決めて学習を続けられる(G) 他者と協調・協働して行動できる(G) 他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる(G) 自ら定めた課題を計画的に実行できる 自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる(G) 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使できる(G)	自己育成力 対人基礎力 目標達成力													
社会の発展、人びとの幸福への方途を、経済学を用いて提案することができる	社会で困窮する人びとの問題に関心を持ち、その解決策を冷静に考えることができる 効率性と公正の関係を理解し、よりよい社会のありかたを考えることができる 建学の理念を深く理解し、使命と責任をもって行動できる	環境変革力													

IV-1-(2) ラーニング・アウトカムズの検証

経済学部では、CCLに示された項目が各授業でどれだけ達成されたかを検証している。そのためのパイロットとして、2011年度後期には、学部必修科目（マクロ経済学・経済と歴史）と、その他教務委員が担当する科目について、達成度についてアンケートを行った。結果は以下の通りである。

	役立つ ←————→ 役立たなかった			
	(1)	(2)	(3)	(4)*
マクロ経済学(K)				
回答数/履修人数 54/96				
1. 日常の経済問題を理解できる	31%	57%	11%	0%
2. 政策提案を理解し評価するために 経済理論を用いることができる	28%	50%	22%	0%
3. 社会分析での数量データの役割を理解している	22%	52%	26%	0%
マクロ経済学(M)				
回答数/履修人数 48/105				
1. 日常の経済問題を理解できる	33%	54%	8%	2%
2. 政策提案を理解し評価するために 経済理論を用いることができる	31%	54%	10%	4%
経済と歴史(Ka)				
回答者数/履修者数 132/185				
1. 社会問題を複数の視点から分析できる	54%	40%	5%	1%
2. 人類の文化・歴史について 適切な知識を持っている	43%	46%	11%	0%
3. 日本の文化・歴史について 適切な知識を持っている	31%	53%	15%	1%
経済と歴史(Ki)				
回答者数/履修者数 46/132				
1. 社会問題を複数の視点から分析できる	43%	48%	9%	0%
Global Economy Intermediate				
回答者数/履修者数 61/74				

1. 経済理論の基礎を英語で学ぶ**	70%	28%	0%	2%
2. 毎週英語のテキストを読み、アウトライン を書き、英語でディスカッションすることが 出来るようになる**	59%	38%	3%	0%
3. 学習者としての責任や時間管理能力を学ぶ**	61%	33%	5%	2%

国際経済論

回答者数／履修者数 19/53

1. 国際経済問題を考察する際に必要な 経済理論を習得する**	47%	53%	0%	0%
2. 現実の国際経済問題を理解し考察する 能力を培う**	47%	47%	5%	0%

- * (1)非常に役に立ったと思う (2)多少役に立ったと思う
(3)あまり役に立ったと思えない (4)まったく役に立ったと思えない

** 授業内容での達成度の調査

アンケートの結果は、当該授業では、教員が意図したラーニング・アウトカムズがある程度達成できたことを示している。今後は、アンケート結果を踏まえて、目標とするラーニング・アウトカムズ、就業力の育成がさらに進むように授業の改善を図っていきたい。

IV-1-(3) カリキュラムマップ (Curriculum Map: CM) の開発

CCLは、各講義でどのような就業力が身に付くかを示しているが、学生にとっては必ずしもわかりやすい表ではない。そこで、各就業力を身に付けるには、どのような科目を履修すればよいかをわかりやすく示すために、CMを経済学部ホームページ上で利用できるようにした。学生は、以下のように、身に着きたい就業力をクリックする。

図表IV-1-(3)-1

創価大学経済学部 Curriculum Map

論理的思考力	身に付けたい就業力をクリック	<input type="checkbox"/> 詳細表示	履修年次
数量的分析力		<input type="checkbox"/> 科目表示	<input type="checkbox"/> 1年
言語表現力		<input type="checkbox"/> ◎のみ	<input type="checkbox"/> 2年
創造的思考力		<input type="checkbox"/> ◎○両方	<input type="checkbox"/> 3, 4年
課題設定力			
対人基礎力			
自己育成力			
目標達成力			
討議推進力			
環境変革力			

すると、「就業力」の具体的な内容が示される。学生は、各項目を選んでいけば、各自授業でどのようなことをするので、どの就業力が要請されるかが明らかになる。

図表IV-1-(3)-2

創価大学経済学部 Curriculum Map

論理的思考力	<ul style="list-style-type: none"> すべての項目を表示 数学の基礎的スキルを身につけている 社会分析での数量データの役割を理解している 統計的な分析の結果を理解し解釈できる 自ら統計的な分析を行える 自らデータを集め統計的分析を行える 	<input type="checkbox"/> 詳細表示	履修年次
数量的分析力		<input type="checkbox"/> 科目表示	<input type="checkbox"/> 1年
言語表現力		<input type="checkbox"/> ◎のみ	<input type="checkbox"/> 2年
創造的思考力		<input type="checkbox"/> ◎○両方	<input type="checkbox"/> 3, 4年
課題設定力			
対人基礎力			
自己育成力			
目標達成力			
討議推進力			
環境変革力			

図表IV-1-(3) - 3

創価大学経済学部 Curriculum Map		
数量的分析力が身につく科目		
マクロ経済学	経済理論の基礎を習得する 雑誌・新聞・テレビ等で経済に関する報道・議論・解説を理解する力を培う	詳細
経済数学入門	経済学で用いる基礎的な数学を習得する	詳細
統計学	パソコンを使って社会事象に関するデータを解析する	詳細
	⋮	

IV-1-(4) My Map の開発

経済学部では、毎年2年次の5月から6月初めに専門ゼミ（2年次後期から開講）の選択が行われる。そこで、各学生は、6月に自身の専門ゼミの教員と面接をして、就業力育成のために、今後どのような学生生活を送ればよいかを考える。そこで作られるのが、My Map である。

1年次末の「就業力測定テスト」および、2年次初めの「進路の仮決め」によって、学生に、希望する進路で求められる能力と、自身に必要な能力を認識している。その能力を身に付けるにはどうすればよいかを、CCLとCMを用いて、希望進路・現在の実力に応じた履修プランをMy Mapとして作成するのである。

このMy Map作成を如何に行うかを討議するために、2012年3月28日に学部FDを行った。

図表IV-1-(4) My Map イメージ図

希望進路		就業力の強みと弱み										
1 民間企業就職：金融、コンサル 2 民間企業就職：運輸・商社業界 3 民間企業就職：情報・マスコミ 希望進路登録システムから		就業力測定テストから										
目標設定	2年次											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
経済学部での学び (専門科目)	・前期の履修科目計画 ・ゼミ開始に向けた勉強計画 ・語学力向上に関する目標 ・GPA、EREなどの数値目標											
正課外活動での挑戦	・ボランティアやインターンシップ ・長期留学に向けたリサーチ ・OBOG懇談会への参加 など											

IV-1-(5) Pre My Map の開発

経済学部では、My Map 開発の前段階の取組みとして、Pre My Map の開発を行った。この Pre My Map は、学生自らが以下の情報を書き出す。

- ①所属ゼミやクラブ、取得単位数、G P A、英語能力のスコア、アルバイトなど現状
- ②将来の進路と卒業後のイメージ
- ③4年間計画の概要
- ④今までの海外経験・今後の海外経験の予定・今後予定している諸活動
- ⑤自身の長所と短所
- ⑥大学4年間で挑戦したいこと
- ⑦学部のコースでどのような力を付けたいか
- ⑧ゼミでどのような力を付けたいか
- ⑨資格やスコアの目標
- ⑩クラブ活動等でどのような力を付けたいか
- ⑪アルバイトでどのような力を付けたいか

①の現状を踏まえて、②において現時点での目標を書かせ、それに向けて、③から⑪の行動が、②の目標に向かって適切な行動計画になっているかをセルフチェックできる Map となっている。また、この Pre My Map は、F E E Lスタッフ（進路が決まった4年生のスタッフ）や職員に相談する際のツールとして活用された。海外インターンシップ（マンチェスター・バンクーバー）参加者は、事前研修において Pre My Map に関する説明を受けた後に、全員が Pre My Map を提出し、海外インターンシップに対する目標を確認した。更に、「社会貢献と経済学」の7回目の授業において、Pre My Map に関する説明を行い、記入後に F E E Lスタッフへ相談するように指示をした。

図表IV-1-(5)

創価大学の「就業力」を付けるための pre My Map !

社会で活躍するための力を身に付けるという観点から書いてみよう！(不明な点などは、F E E Lスタッフや教職員に相談してみよう)

学籍番号	1160000	学部	経済	学年	1	所属ゼミ 担当教員名	OO先生	氏名	鈴木 太郎	部活等 7月現在の状況	〇〇研究会 通3回活動 フリスビーにて活動中
[Pre My Map]完成年月日	2011年 12月 1日		木曜日	連絡GPA	3.82	取得単位数	20	TOEFL スコア	460	TOEFL LIFE	460

1年次の状況

入試順位: センター

前期単位数: 20

後期単位数: 20(予定)

インターンシップや留学の計画
などがあれば書いてみよう！

現在の海外経験

高校時代にニュージーランドで2週間のホームステイを経験

今後の海外経験の目標(学生)
1年1カ国2年1カ国3年1カ国4年1カ国5年1カ国

ボランティアや経験したい活動
職員のボランティアもしたいと考えています

長所？(得意な得意なこと)

物事に果敢と取り組む姿勢

短所？(得意な得意なこと)

自身の考えに固執して、柔軟性がない

挑戦

学生生活の中で挑戦したいことを自由に書いてみよう！(留学やクラブ活動など)
自身に、どんな力を付けたいのか書きかき書いてみよう！
もしも、それ以外の方法で、英語力が向上を目指します。3年生後期からアメリカの大学に短期留学を検討。長期にわたって学び、更に自身の英語力と自主的な活動の機会を増やします。また、〇〇研究会では、チームで物事を達成する力を付けていきたいと思っています。5年間の大学生活の中で、力を付けて、海外金融機関の特定5年生の就職先に挑戦したいと考えています。

コース

経済学部の3つのコースのうち、どのコースを選びますか？
コース名と選んだ理由を書いてみよう！(選ばれる決まっている選択科目も)
専攻グローバル経済学コース
様々な経済活動と、社会とのかかわり方を学びたいと思い、このコースを選びました。
関関と自国の経済学・日本経済史・グローバル経済学入門などを履修予定でます。

ゼミ

履修する専門科目とその担当教員が担当する授業を書いてみよう！
〇〇先生を担当しています。この先生は進路に関する相談や目標について進路に関心していること、グローバルな経済活動を研究すること、ゼミの先輩がとても親切で、就職においても、素晴らしい就職先を紹介していることなどです。
この中で、先生と共同して目標を達成するのと、アルバイトで力を付けることを目標としています。

目標

卒業後の進路に〇を付けてみよう！
就職 教職 進学 公務員 その他

卒業後のイメージを書いてみよう！

卒業後の自身のイメージは？
グローバルな海外金融機関で働き、専門性を身に付け、常に向上心を持ち、条件最良と考えられるビジネスパーソンになっている。

卒業して10年後の自身の社会貢献のイメージは？(30代)
海外金融機関で働き、海外金融機関のニュー・ヨーク、ロンドンなどの主要オフィスにおけるプロジェクトを通して、世界経済に深く関わる仕事をしたい。

卒業して20年後の自身の社会貢献のイメージは？(50代)
これまでの経験を活かして、金融系のコンサルティング会社を設立し、地元大阪の、そして日本の経済発展に貢献している。

資格

資格・スコア到達目標
いつまでにどのレベルまで
5年生後期中に TOEFL-IBT 80点以上
留学後に TOEIC800点以上!

活動

クラブ活動等
どんな力を付けたいか
〇〇研究会に在籍して、仲間と一緒に目標を達成するカレッジ・リーダーシップを身に付けたい。

アルバイト

どんな力を付けたいか
社会人としての働き方を知り、自己管理能力を身に付けたい。また、アルバイト先にて、顧客へのサービスに力をつけていきたい。